

会 議 録		令和 5 年12月19日作成	令和 9 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府福知山警察署協議会（令和 5 年度第 3 回）		
開催日	令和 5 年12月 7 日（木曜日）		
時 間	午前10時25分から午前11時50分までの間（85分）		
場 所	京都府福知山警察署 講堂		
出席者	足立（幸）会長、中司副会長、北村副会長、廉屋委員、足立（久）委員、 笹田委員、福井委員、角友委員、光成委員、西村委員 (欠席 片山委員) 計10人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	若手地域警察官の指導育成について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長		
	2 幹部紹介		
会 議 内 容	3 諮問事項説明		
	(1) 若手地域警察官の指導育成について～地域課長 (2) 若手地域警察官への質問～地域警察官 4 名		
会 議 内 容	4 協議 司会 会長		
	【委員】SGKプロジェクト（積極的な街頭活動の強化に向けたモデル事業） というプロジェクトは過去から継続的にあるものか。それとも今回初めて計画されたものになるか。 【警察】今回のような企画は、初めてのものである。 鑑識教養などの教養は昔からされている。ただ、あくまで集合教育であり、警察学校であれば、30人の生徒対1人の教官というような教養になってしまうため、体験数が少なくなってしまう。 警察署であれば、限られた人数に対して、よりきめ細かく指導ができると考えている。 【委員】緊張感の中で、細かな指導がされていると感じたので、継続すれば身になると思う。若手だけでなく、教える側の気づきもあると思うの		

会 議
内 容

で、全体がグレードアップすれば、街の安全にもつながるのではない
か。是非よろしくお願ひしたい。

【委員】SGKプロジェクトについて評価はされるのか。また、評価基準は
あるのか。その目標がクリアできなかった場合のフォロー体制はどう
なっているか。

【警察】数値目標については、タイピング訓練であれば、一定基準を設けて、
クリアできるかどうかで評価をする。

職務質問などのロールプレイングについては、個人差があるので、
勤務評定として反映させようと考えている。

数値評価ができるようなものは、数値評価するようにし、目標が達成
できない場合には、個別指導するようにしている。

【委員】若手育成とは話がずれるが、先ほど質問の際に話題になった万引き
について、店側が対処方法について警察に相談した際は何か助言をし
てもらえるのか。

【警察】万引き防止の措置を講じるように、例えば、防犯カメラの増強やガ
ードマンの配置等を依頼する。

店舗は被害者側になるため、声掛けをしてもらうのは問題ないが、
しっかり見ていなければ、相手が商品を持っていない場合等に問題に
なるのでしっかり確認をしてもらう必要はあると指導をさせてもらっ
ている。

自主防犯をしていただくのが第一だが、ひどいようなら警察でも対
応を考える。

【委員】もう一点、私の職場でも苦情対応に苦勞することがあるが、警察に
苦情対応の研修をしてくださいとお願いをすれば協力をしてもらえる
か。

【警察】怒っている相手に対しては、冷静に対応していただきたい。

要望があれば検討をさせてもらう。

【委員】若い職員が対応に困っていることを目にすることがある。

経験を重ねて、対処方法を自分で勉強をしていくしかないと感じて
いる。

【警察】警察は半年間教育を受けさせながら、給料を支払っている。

他の機関でも若干の研修期間はあると思うが、すぐ現場で働かなけ
ればならないと思う。

集合教育の後、職場でも教養をしている警察は手厚い教養をしてい
ると考えている。

SGKプロジェクトの結果は、5年後、10年後に出てくると考えて
いる。その時に、大きく成長した警察官になってくれていれば嬉しい。

今後もしっかりと指導を行い、良い警察官にしたい。

【委員】今回は、若手の指導育成ということだが、先日テレビでベテランの警察官が犯罪をしたと報道されていた。

ベテランに対して研修をしているのか。

【警察】巡査部長、警部補であれば、昇任すれば警察学校等に入校し、幹部としての教育を受ける。

報道された警察官も、その教養は受けている。

警察学校等入校の際には、必ず不祥事防止のための教育や倫理教育を行っている。

今回のことについては非常に残念に感じている。

教育については一生続いていく。

【委員】若手の指導育成とは違う内容になるが、駐在所に駆け込んだ際に警察官が不在だったことがある。

たくさんの警察官がパトロールに出してしまうと、駐在所が空になったりすると思うが、その際の対応について教えてもらいたい。

【警察】駐在所には公休日があり、24時間、365日勤務ではない。

交番や駐在所に対しては、制服でパトロールしてほしいという要望と、交番等に警察官にいてもらいたいという要望があるが、事件事故に対応しなくてはならない。

警察官が不在になりやすい交番には、日中、交番相談員が配置されており、落とし物や被害届等の対応をしている。

駐在所の場合は、勤務員の配偶者にかかってきた電話を取り次いでもらうことがある。

駐在所には当署に直通する電話を設置しているので、その電話を利用してもらいたい。

どうしても急ぐ場合は、110番通報をしてもらいたい。

【委員】SGKプロジェクトのようなプロジェクトは、京都府内の他の警察署でも行っているのか。

他の警察署でも行っているのであれば、教養内容を共有すれば、どの警察署に配属されても、現場で活躍できる警察官を育てられるのではないかと思う。

【警察】このプロジェクトは試行実施である。試行実施で当署が選ばれており、他に川端警察署、南警察署等が選ばれている。

当署としては、他の警察署に負けないよう積極的に取り組んでいる。

この結果を踏まえて、本部で本格的に運用するのか検討される。似たような教養については、どの警察署でも行っている。

会 議
内 容

【委員】 11月2日に開催された警察協議会会長会議の結果を踏まえて、提案をさせていただきます。

京丹後警察署協議会の発表で、出前講座一覧表の作成についての取組が発表された。地域の安全安心を考えたときに、出前講座を積極的に紹介してもらえれば、地域の力にもなるのではないか。

委員の方に反対意見がなければ、福知山警察署でも出前講座一覧表を作成してもらいたいと考えている。

【委員】 良いと思う。

【委員】 他の委員に反対はないので、出前講座一覧表を作成する方向でお願いしたい。

【警察】 提案いただいた件については、効果があるという意見であり、当署でも前向きに取り組んでいきたい。

当署で、京都府警察や福知山市のホームページへの掲載の働き掛けや、協力してもらえる企業の選定を行い、来年度のスタートに向けて取り組んでいく。

6 事務連絡

令和5年度第4回警察署協議会については、協議事項も含めて事務局と調整の上、決定する。

以上

第3回京都府福知山警察署協議会の開催状況

